

教科名：物理

【 3 学年 物理 】 ルーブリック評価表

観 点	内容のまとめ	評価規準	評価基準			評価方法
			A	B	C	
知識・技能	①剛体のつり合い ②放物運動 ③運動量 ④円運動と単振動 ⑤気体の性質と分子運動 ⑥波の性質 ⑦音波 ⑧光波 ⑨電場と電位 ⑩電流 ⑪電流と磁場 ⑫電磁誘導と交流 ⑬電子と光 ⑭原子と原子核	①剛体のつり合いから力が求められるか。 ②放物運動する物体の速度、位置を求められるか。 ③運動量保存の法則を使って計算できるか。 ④等速円運動、単振動の周期が求められるか。 ⑤熱機関の熱効率が求められるか。 ⑥任意の時刻、位置の波の変位を求められるか。 ⑦ドップラー効果により変化した振動数を求められるか。 ⑧薄膜で干渉し強め合う波長を求められるか。 ⑨ガウスの法則から電場が求められるか。 ⑩キルヒホッフの法則を用い電流が求められるか。 ⑪1 A の定義を説明できるか。 ⑫RLC直列回路のインピーダンスを求められるか。 ⑬コンプトン効果を説明できるか。 ⑭ウランの核分裂で発生するエネルギーを求められるか。	①剛体のつり合いから力が求められる有効数字の処理もできる。 ②放物運動する物体の速度、位置を求められる有効数字の処理もできる。 ③運動量保存の法則を使って計算でき有効数字の処理もできる。 ④等速円運動、単振動の周期が求められる有効数字の処理もできる。 ⑤熱機関の熱効率が求められる有効数字の処理もできる。 ⑥任意の時刻、位置の波の変位を求められる有効数字の処理もできる。 ⑦ドップラー効果により変化した振動数を求められる有効数字の処理もできる。 ⑧薄膜で干渉し強め合う波長を求められる有効数字の処理もできる。 ⑨ガウスの法則から電場が求められる有効数字の処理もできる。 ⑩キルヒホッフの法則を用い電流が求められる有効数字の処理もできる。 ⑪1 A の定義を説明でき、真空の透磁率も瀬悦明できる。 ⑫RLC直列回路のインピーダンスを求められる有効数字の処理もできる。 ⑬コンプトン効果の運動量保存	①剛体のつり合いから力が求められる。 ②放物運動する物体の速度、位置を求められる。 ③運動量保存の法則を使って計算できる。 ④等速円運動、単振動の周期が求められる。 ⑤熱機関の熱効率が求められる。 ⑥任意の時刻、位置の波の変位を求められる。 ⑦ドップラー効果により変化した振動数を求められる。 ⑧薄膜で干渉し強め合う波長を求められる。 ⑨ガウスの法則から電場が求められる。 ⑩キルヒホッフの法則を用い電流が求められる。 ⑪1 A の定義を説明できるか。 ⑫RLC直列回路のインピーダンスを求められる。 ⑬コンプトン効果を説明できる。 ⑭ウランの核分裂で発生するエネルギーを求められる。	①剛体のつり合いから力が求められない。 ②放物運動する物体の速度、位置を求められない。 ③運動量保存の法則を使って計算できない。 ④等速円運動、単振動の周期が求められない。 ⑤熱機関の熱効率が求められない。 ⑥任意の時刻、位置の波の変位を求められない。 ⑦ドップラー効果により変化した振動数を求められない。 ⑧薄膜で干渉し強め合う波長を求められない。 ⑨ガウスの法則から電場が求められない。 ⑩キルヒホッフの法則を用い電流が求められない。 ⑪1 A の定義を説明できない。 ⑫RLC直列回路のインピーダンスを求められない。 ⑬コンプトン効果を説明できない。 ⑭ウランの核分裂で発生するエネルギーを求められない。	定期試験、授業中の発問、提出物

			<p>の式、エネルギー保存の式をつくれる。</p> <p>⑭ウランの核分裂で発生するエネルギーを求められ有効数字の処理もできる。</p>			
思考・判断・表現	物理で学習する運動とエネルギー、波動、電磁気などの知識	身近な物理現象を学習した式で表し、論理的に説明できるか。	身近な物理現象を学習した式で表し、論理的に説明できるか。	身近な物理現象を学習した式で表せる。	身近な物理現象を学習した式で表せない。	定期試験、授業中の発問、提出物
主体的に学習に取り組む態度	<p>①授業に興味をもち理解しようとしたか。</p> <p>②試験で平易な問題に答えたか。</p>	<p>①授業中の発問に対する答え方。</p> <p>②試験の平易な問題の解答。</p>	<p>①課題に興味を持ち、積極的に答えようとする意欲が感じられる。</p> <p>②試験の平易な記号問題がよくできている。</p>	<p>①答えを言おうと努力する態度が感じられる。</p> <p>②試験の平易な記号問題ができている。</p>	<p>①促されないと、答えようとしない。</p> <p>②試験の平易な記号問題ができていない。</p>	定期試験、授業中の発問、提出物